

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	軽井沢町					
代表者名	氏名	藤巻 進	役職名	町長		
主たる事務所の所在地	長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2381-1					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	98 地方公務				
主たる事業の概要	町行政機関					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,415	3,313			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6,549	6,353			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0				
自動車の台数	台	63				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	62				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度		年度
--------	--	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.town.karuizawa.lg.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

温室効果ガス排出抑制のために、これまで以上に職員一人ひとりが責任を持ち、こまめに、また、自主的に取組を実践することが必要です。そのためには、細かい行動の積み重ねが地球温暖化の抑制につながるということを認識し、自らの意識を高めることが必要です。加えて、施設管理部門等による施設等の適切な維持管理や、省エネルギー設備の計画的な更新を行うことにより、着実に総排出量を削減していきます。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

推進統括者⇒町長

当町及び関係機関の省エネルギーに関する方針を定め、意思決定を行います。

推進副統括者・温暖化対策責任者⇒副町長

推進統括者の補佐及び代行を行います。また、町長部局においては省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を務めます。

推進責任者⇒環境課長

この計画の運用を行い、事務局を統括します。

実行責任者⇒各課長等

各課長等を実行責任者とし、職員一人ひとりが主体となって取り組みます。

推進委員⇒環境マネジメント委員

各課等で選任されている環境マネジメント委員（課長補佐等）で、事務局と連携し、各課等及び所属職員による取り組みを推進します。また、各々の部署において取り組みが着実になされているかを点検し、必要に応じて是正を促します。

事務局⇒環境課自然環境係

施設管理部署と協力し、この計画の運用や見直しに関する事務を行います。

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境マネジメント委員会（年1～2回）

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,549	t-CO ₂	延べ床面積	43.04	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	6,549	t-CO ₂	基準原単位	152.15	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	6,353	t-CO ₂	目標原単位	147.59	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の目標削減率については、軽井沢町地球温暖化対策実行計画（3次）において、2030年度までに2013年度（基準年度）比で温室効果ガス40%削減を目標にしている。 ・目標削減率については、省エネ法の努力目標である「原単位年平均1%以上の低減」を参考に3年間の削減率（3%）を算出した。 						
第一年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	62	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	自動車		ノーマイカーデーの実施	2020	7		
2	自動車		ノーマイカーデーの実施	2021	7		
3	自動車		ノーマイカーデーの実施	2022	7		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	198	0			

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	8	6,549						
合計	8	6,549						

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0			
CH ₄	0			
N ₂ O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF ₃	0			
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	1			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	3			
合計	4	0	0	0
自動車総数	63			
次世代車導入割合	6.3			

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	4月～10月の毎週水曜日に相乗り等によるノーマイカーデーを実施している。目標実施率は85%。(平成31年度(令和元年度))の実施率:87.03%) また、しなの鉄道沿線への出張等は、しなの鉄道等公共交通機関を利用するようにしている。
自転車の利用促進	4月～10月の毎週水曜日に自転車によるノーマイカーデーを実施している。目標実施率は85%。(平成31年度(令和元年度))の実施率:87.03%)
来客者の交通対策	
物流の合理化	

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	軽井沢町地球温暖化対策実行計画(3次)	平成31年
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBTを策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Actionへ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

- ・軽井沢スマートコミュニティ推進委員会を開催し、再生可能エネルギーを最大限活用することについて調査・研究を行い、再生可能エネルギー活用への推進を行っている。
- ・長野県SDGs賛同団体となっている。